

下北沢未来ビジョン

Shimokitazawa
Area management
Mirai-Vision / vol.01

歩いて 楽しい
快適なまち、シモキタ



出あい、集まり、混ざり合っ
てシモキタのまちをおもしろく



Contents

エリアマネジメントの必要性	P1
未来ビジョンの活動の対象範囲	P2
将来像／目標／事業	P3
事業実施の考え方	P5
実施体制	P5
ロードマップ	P7
下北沢エリアマネジメント協議会とは	P8



エリアマネジメントの必要性

エリアマネジメントって？

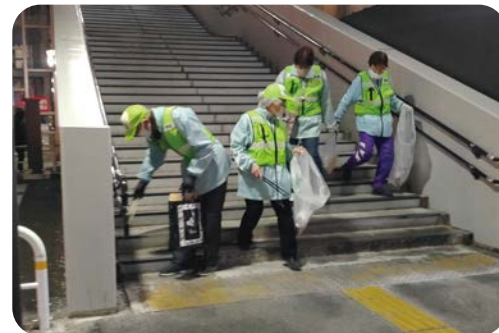
地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、地域による主体的な取り組みです。



まちづくりの組織化による持続性の確保

下北沢は、商店街、町会・自治会、地域の活動団体、企業、行政など多様なプレイヤーがまちの魅力を高め、課題に取り組んできました。こうしたこれまで行ってきたまちの魅力をつくるイベントや清掃・防犯に代表される地域活動などを、これからも継続していくためには、近い将来に起こる可能性がある高齢化等による担い手不足に対応していく必要があります。

私たち下北沢エリアマネジメント協議会は、このような問題を解決する手段として、これまでの有志の街に対する意志と活動を持続・発展させていくためのエリアマネジメント活動とその組織化が必要だと考えます。



下北沢に関わるみんなにとってのまちの魅力向上



下北沢駅周辺は、昔からファッション・音楽・演劇に代表されるカルチャーや生活密着の市場など独特な活力がみなぎる街です。また、カレーや古着、そして、鉄道の線路跡地・高架下の利用による新たな魅力が、まちの遺伝子を引き継ぎながら生まれたことによって、来街者が増加し一層のにぎわいを創出しています。一方、商業地のすぐそばには住宅地が広がっており、住民視点での住みやすさに課題を抱えています。

そこで、エリアマネジメント事業を通じて、住民や事業者、来街者など多くの人にとって、下北沢の魅力と住みやすさをより一層向上させていくことをめざしています。

未来ビジョンの活動の対象範囲

活動の対象範囲として「対象施設」「対象エリア」「波及エリア」を定めます

未来ビジョンの活動の対象範囲は、「対象施設」「対象エリア」「波及エリア」の3つを定めます。

「対象施設」は、エリアマネジメントの活動において重点的な活動の対象となる施設です。下北沢駅駅前広場等が対象となります。

「対象エリア」は、活動を行うエリアです。下北沢駅周辺地区地区計画及び商店街振興組合・商店会のエリアが対象となります。

「波及エリア」は情報共有や活動連携をするエリアで周辺町会・自治会のエリアを位置づけています。

対象エリア図

対象施設

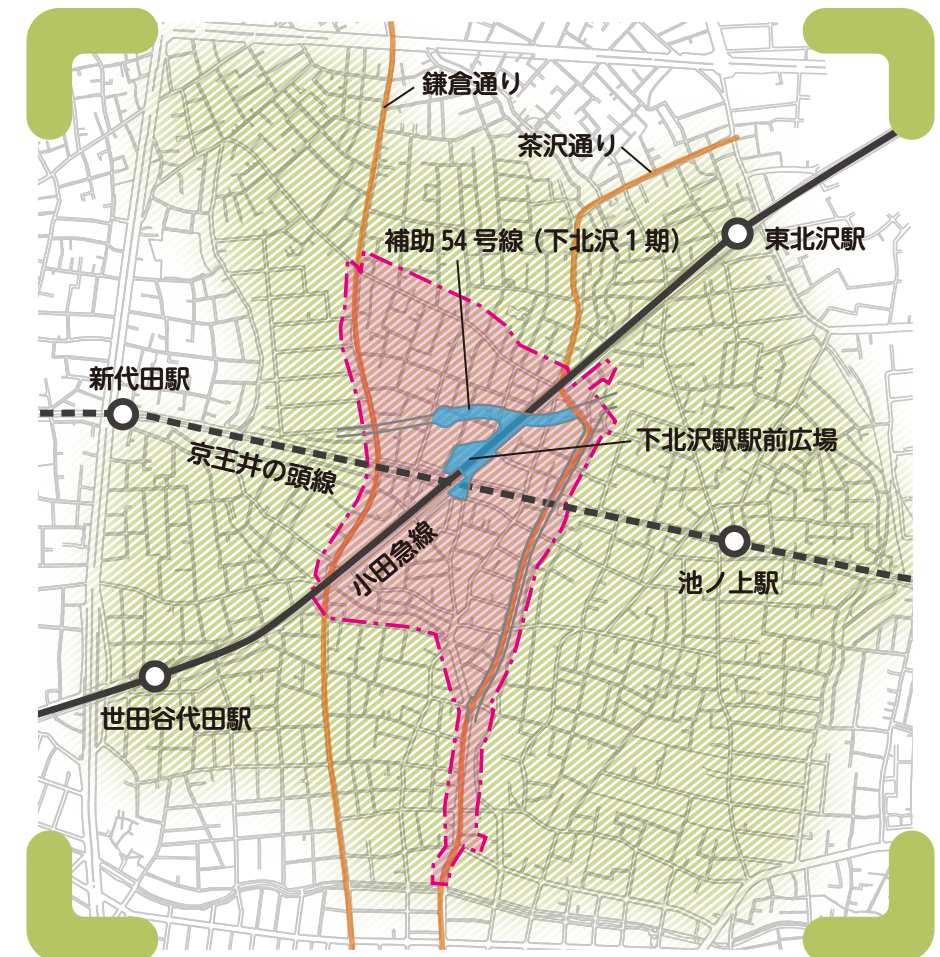
重点的な活動の対象となる施設
都市計画道路補助第54号線（下北沢1期）及び下北沢駅駅前広場（世田谷区画街路第10号線）の区域

対象エリア

エリアマネジメントの活動を行うエリア（下北沢駅周辺地区地区計画及び商店街振興組合・商店会のエリアが対象）

波及エリア

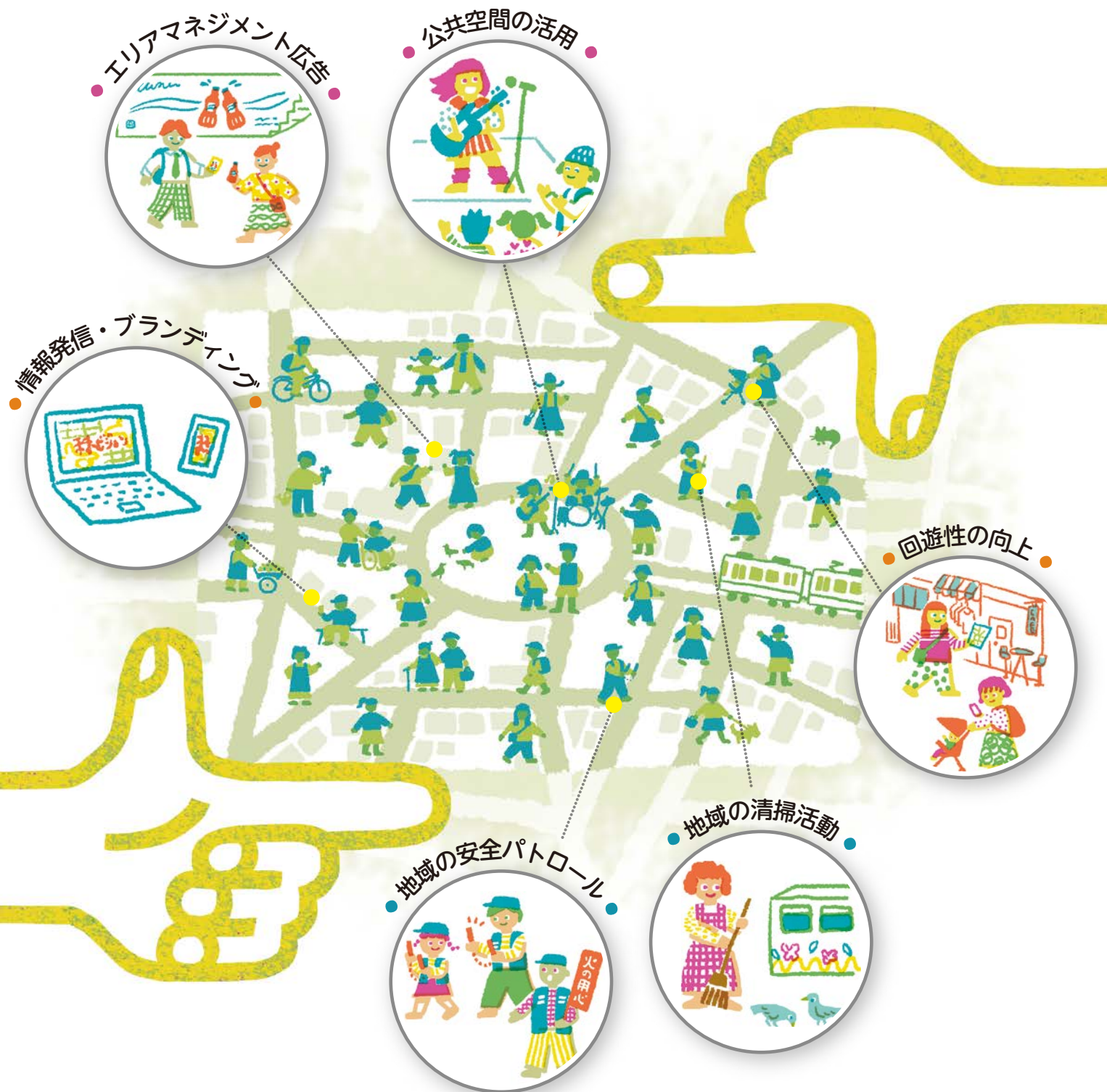
エリアマネジメントの情報共有や活動連携をするエリア（周辺町会・自治会）



将来像／目標／事業

将来像 歩いて 楽しい 快適なまち シモキタ

シモキタを愛する多様な人々にとって、魅力的なまちであり続けるために、まちの遺伝子を引き継ぎ、まちの変化にあわせながら、世代を越えて地域の価値の維持・向上に取り組みます。



目標の実現にむけて、大きく3つに分けて事業を推進します。これらのエリアマネジメント事業には、今後設立予定のエリアマネジメント法人が実施するものだけでなく、下北沢駅周辺のまちづくりに関わる全ての団体がそれぞれの特徴をいかして取り組む内容も含まれています。ただし、エリアマネジメント事業のうち、②公共空間活用事業（公共空間活用・エリアマネジメント広告事業など）については、エリアマネジメント法人が公共空間の活用に関わる諸手続きと段階を経た上で、具体的な実現に向けて取組みを進めます。

目標 1

歩けるまち

人（歩行者）が中心となった心地よい路地空間や商店が並ぶまちの魅力を活かします。

事業 ①

まちの価値創出事業

下北沢というまちの独自の魅力をさらに高めて、歩いて回遊したくなるまちにすることをめざす事業です。
まちの魅力を伝える広報活動の推進、まちを歩いて楽しむ回遊性の向上、路地文化の魅力を深める活動などを想定しています。
また、まちのブランド力を生かした商品開発や広告などの収益事業も検討します。

取組み内容

- 1. 情報発信・ブランディング**
【活動例】
● 情報発信・広報活動（路地文化の魅力、まちのイベント一覧、マップ作成など）
● 案内所の運営
● 企業連携等による商品開発やシンボル検討など
- 2. 回遊性向上**
【活動例】
● まち全体を使ったイベントや企画の立案・実施など

目標 2

楽しいまち

独自に進化を続ける他のまちにないおもちゃ箱のような楽しさを活かします。

事業 ②

公共空間活用事業

駅前広場などの公共空間を活用し、楽しいまちにすることをめざす事業で、今後設立予定のエリアマネジメント法人が主に進める事業です。自主イベントの実施や、公共空間の貸出を通して、誰もが関わることのできる公共空間を活気ある賑わいの場として演出します。
また、エリアマネジメント広告の掲出による収益事業も検討します。

取組み内容

- 3. 公共空間活用**
【活動例】
● 公共空間の貸出
● 自主イベントの実施（エリア全体を範囲としたまちぐるみのイベントなど）
● 自動販売機・ロッカーの設置 など
- 4. エリアマネジメント広告**
【活動例】
● 公共空間への広告の掲出（壁面、フラッグ、デジタルサイネージ、ごみ箱ラッピング など）

目標 3

快適なまち

公共空間を綺麗に保ち、誰にとっても安心して安全な環境を整えることにより、快適なまちをめざします。

事業 ③

快適性向上事業

まちの環境をより安全で、美しく、快適なまちにすることをめざす事業です。
まちの環境美化、安心・安全の確保に資する活動を行います。
環境維持向上を啓発・促進する来街者向けの企画なども検討します。

取組み内容

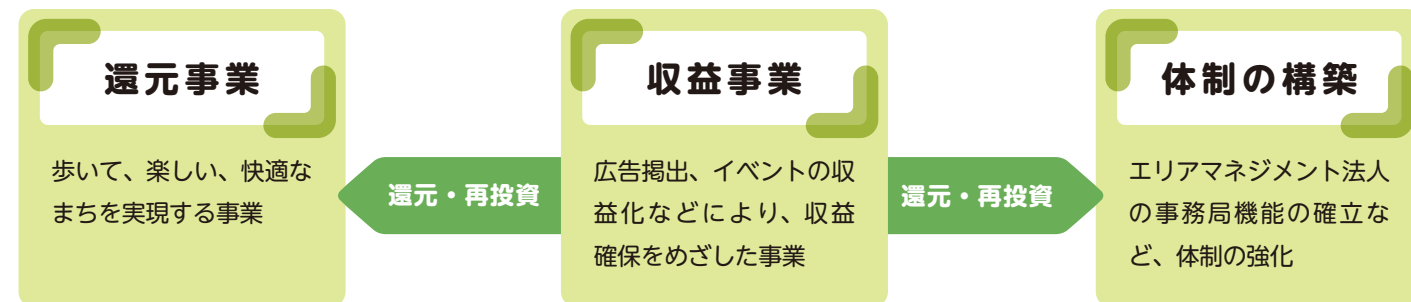
- 5. 地域環境維持向上**
【活動例】
● 清掃活動
● ごみ箱の設置・管理
● 安全・安心パトロール
● 環境維持向上の意識啓発・促進を目的とした企画立案及び実施 など

事業実施の考え方

持続可能な事業モデルの構築をめざします

事業を長く続けるには安定的な財源の確保が必要です。

そのために公共空間活用の仕組みや体制を整え、エリア特有の資源を活かした収益事業の実施をめざします。収益は、地域の魅力を高める事業の実施や、さらに体制を強化するために使います。

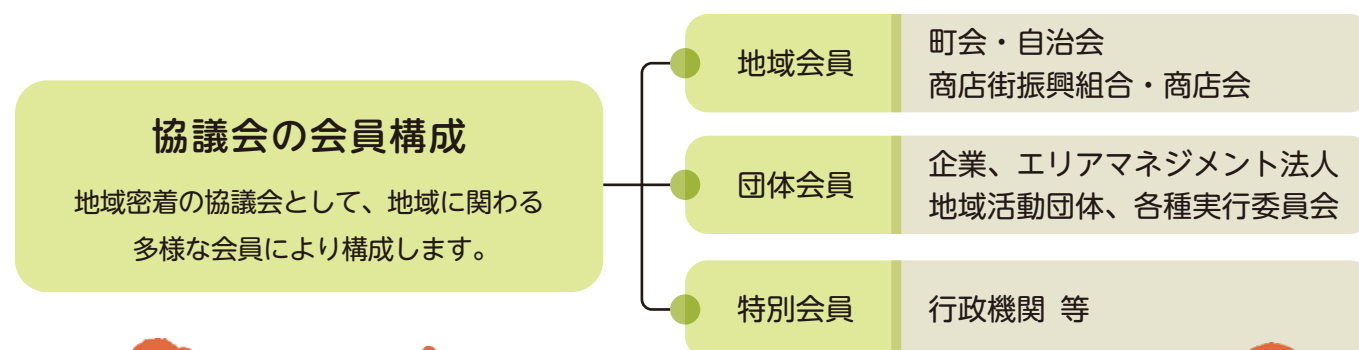


実施体制

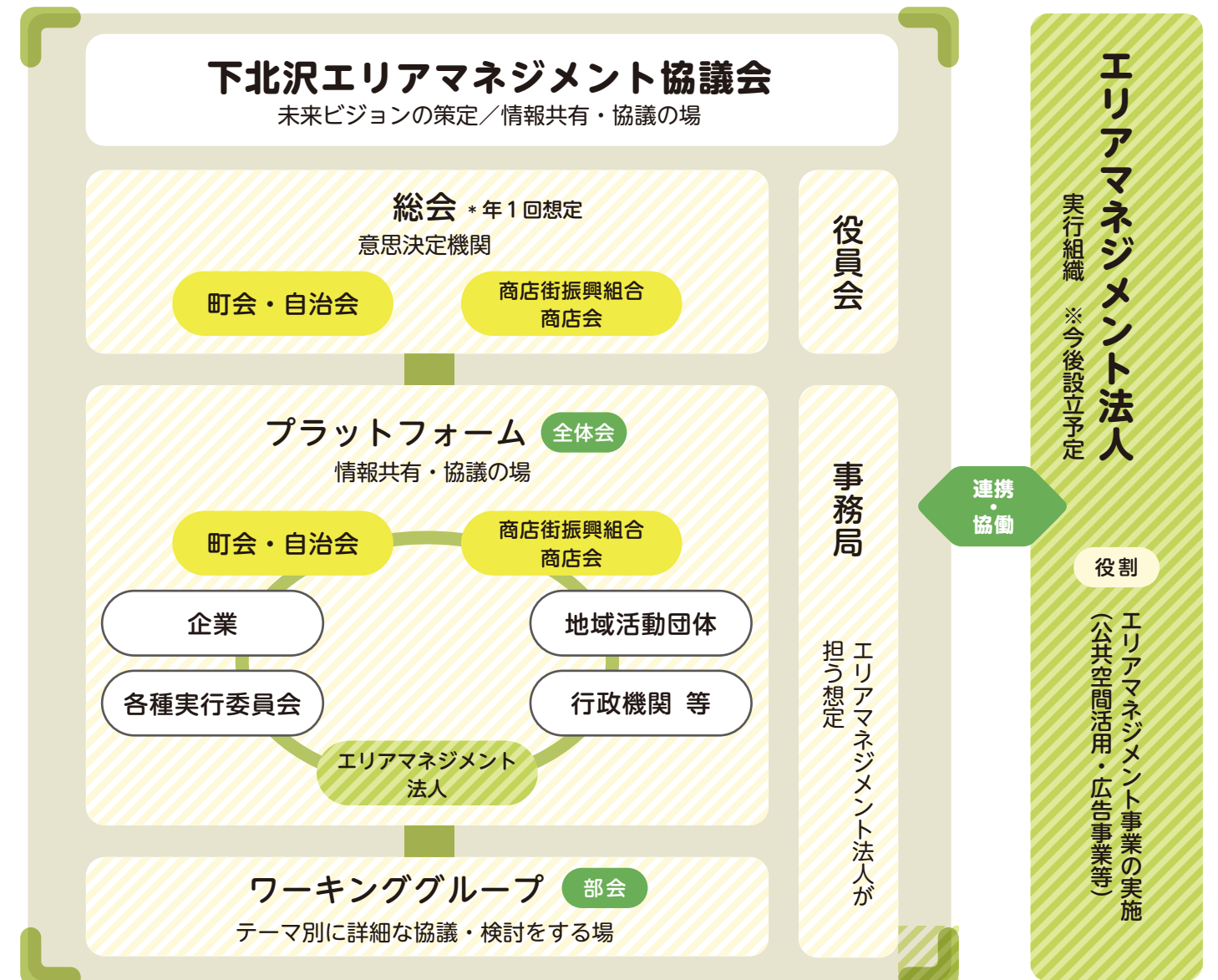
体制の考え方

エリアマネジメントの推進に向けて、下北沢で活動する多種多様な団体が集まり「下北沢エリアマネジメント協議会（以下、協議会）」を立ち上げます。

協議会は、未来ビジョンを策定し、その後の推進における情報共有や協議を行う場とします。



協議会等の構成

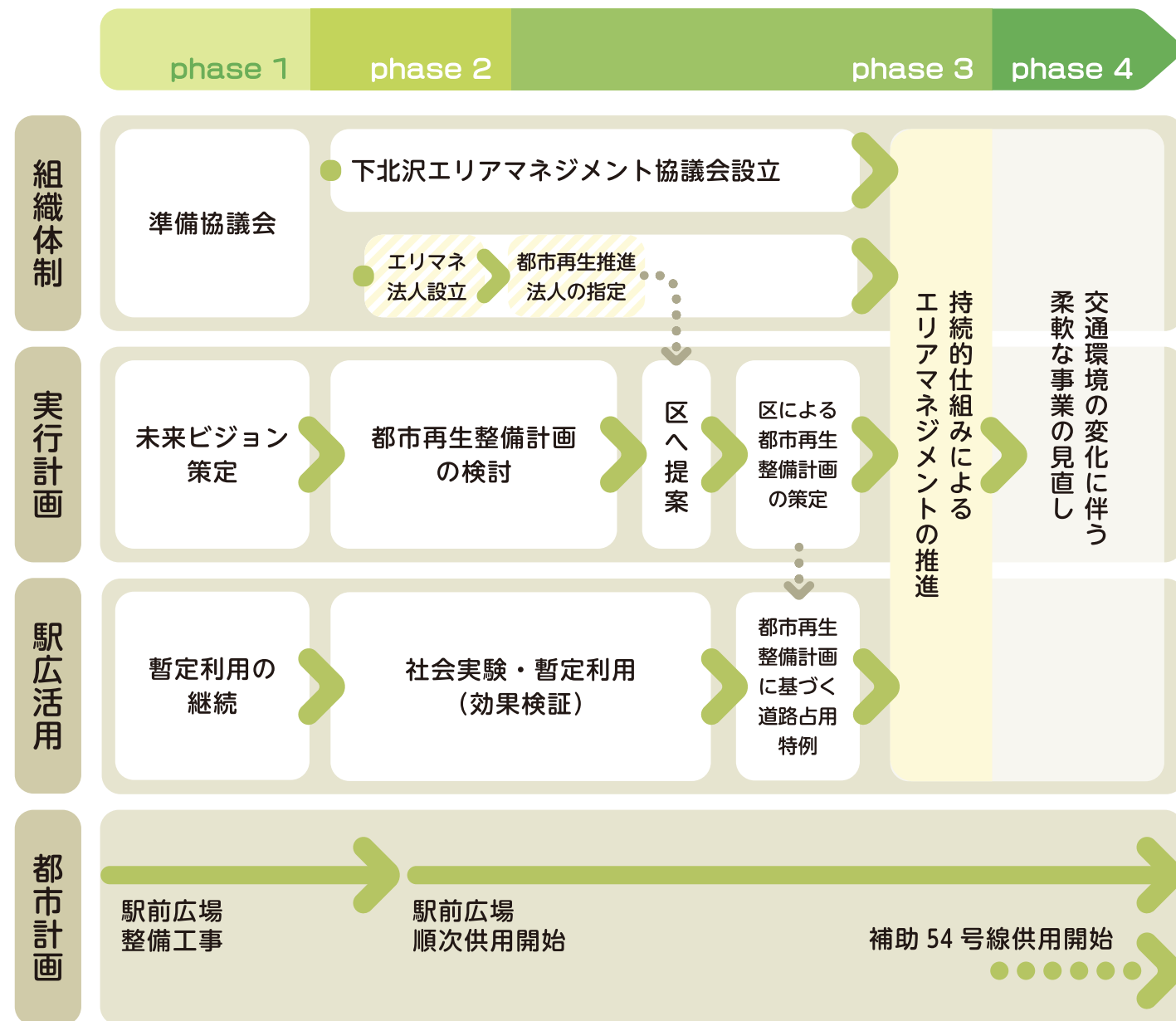


各機関等の解説

- 総会**
未来ビジョンの策定など、重要な事項について決定する機関です。総会の議決権は、地域会員（町会・自治会、商店街振興組合・商店会）が有するものとします。
- 役員会**
プラットフォーム（全体会）の招集や、会員の入会の承認などを行います。役員（監事を除く）は、地域会員から選出します。
- プラットフォーム（全体会）**
下北沢周辺に関わる多様な団体の情報共有・協議の場です。
- ワーキンググループ（部会）**
テーマ別に詳細な協議・検討をする場です。必要に応じて設置します。
- 事務局**
協議会の運営に必要な事務を行います。
- エリアマネジメント法人**
今後設立する予定の組織で、一般社団法人を想定しています。将来的には都市再生推進法人の指定をめざし、公共空間活用事業やエリアマネジメント広告事業などを担うことを想定しています。

ロードマップ

未来ビジョンを策定し、将来像の実現のために社会実験等を通じて具体的な運用ルールや体制を検討し、持続的な活動を育んでいきます。また、都市再生推進法人の指定、都市再生整備計画の提案を経て、道路占用特例等を活用した公共空間活用事業の仕組みを整備していくことを想定しています。



下北沢エリアマネジメント協議会とは

令和3年12月から勉強会や意見交換を重ね、令和7年2月に下北沢エリアマネジメント協議会を設立しました。今後も意見交換を重ね、エリアマネジメントによる、まちづくり活動の持続化や地域課題の解決に向けた取組みをめざして、下北沢における良好な環境や地域の価値の維持・向上に取り組んでいきたいと考えています。



未来ビジョン検討の経緯

- 令和3年12月 エリアマネジメント勉強会 (下北沢商店連合会、鉄道事業者、地元企業)
- 令和4年4月～ エリアマネジメント設立準備会 計14回 (下北沢商店連合会等)
【主な内容：まち歩き、まちの課題出し、事例研究、ビジョン (たたき台) 案の作成など】
- 令和4年11月～12月 下北沢駅周辺のエリアビジョン (たたき台) 意見交換会 計2回
(下北沢商店連合会、町会 (2団体)、鉄道事業者、地元企業、世田谷区)
- 令和4年12月 下北沢駅周辺エリアマネジメント準備協議会 設立
- 令和5年4月～6月 業者選定プロポーザル (未来ビジョン策定等業務委託)
- 令和5年7月～令和6年2月 下北沢駅周辺エリアマネジメント準備協議会 計4回
【主な内容：まちの現状分析・活動整理、事例研究、エリアマネジメントの事業内容・対象範囲・組織構成・ロードマップの検討、未来ビジョン (素案) の作成など】
- 令和6年3月 第10回北沢デザイン会議にて取組み紹介
【主な内容：未来ビジョン (素案) に対する地域等との意見交換】
- 令和6年6月～令和7年2月 下北沢駅周辺エリアマネジメント準備協議会 計4回
【主な内容：協議会の規約等の検討、未来ビジョンのデザインや内容の検討・作成など】
- 令和6年10月 下北沢未来ビジョンパネル展
【主な内容：未来ビジョン (素案) の普及啓発、意見募集】
- 令和7年2月 下北沢エリアマネジメント協議会 設立、未来ビジョン策定

Shimokitazawa
Area management
Mirai-Vision

編集・発行 下北沢エリアマネジメント協議会



発行：2026年6月1日（第2版）
協力：株式会社 石塚計画デザイン事務所
karako design works